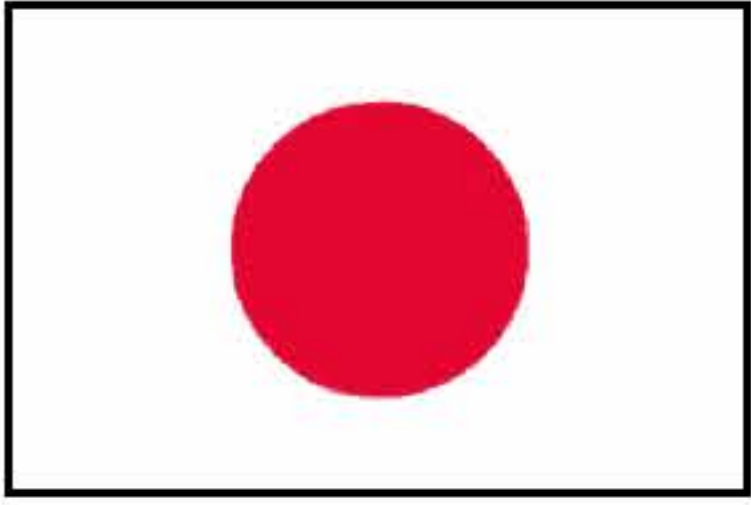
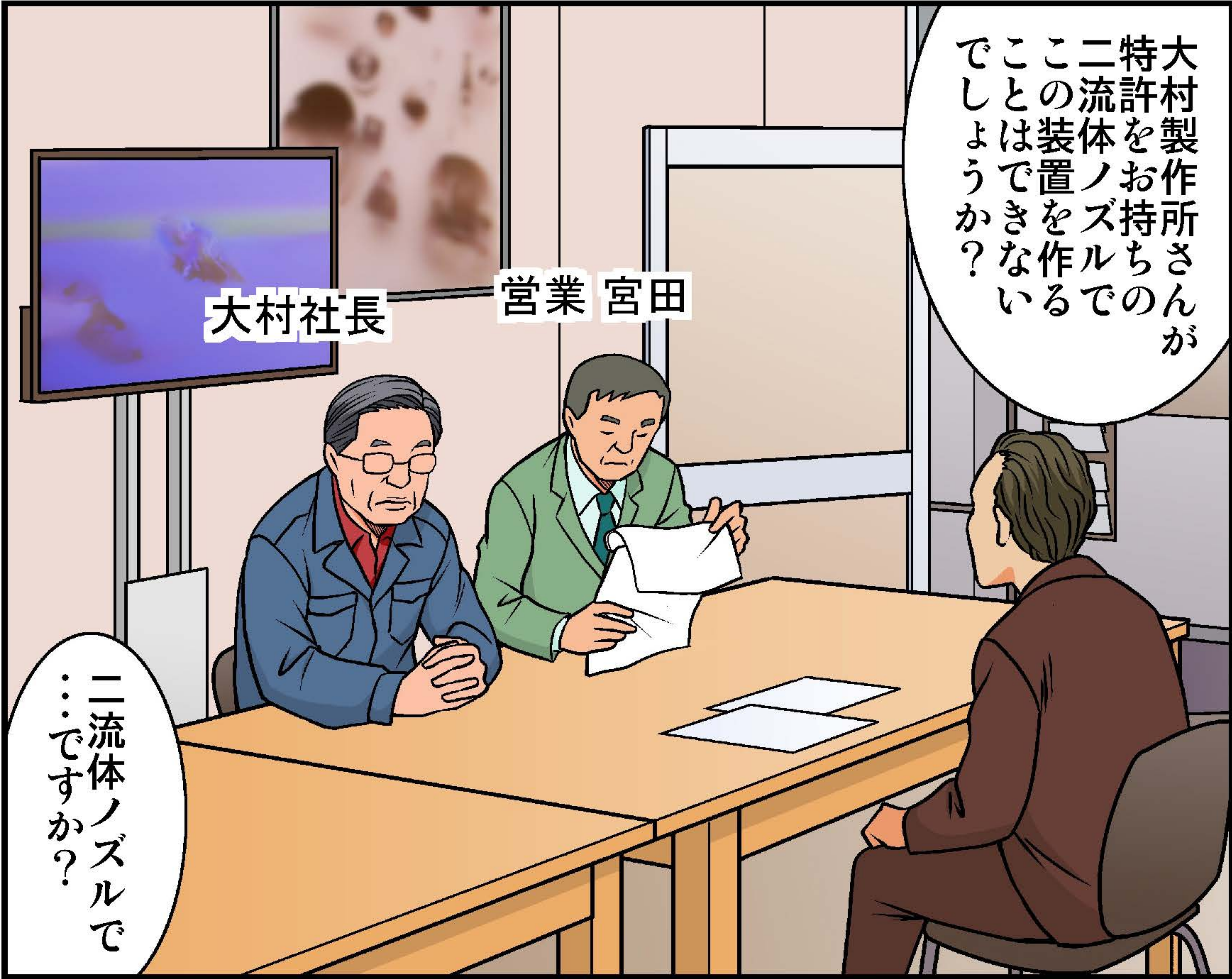




『畑違いが発明を生んだ！大村製作所 ポテトカッティングプランター用消毒液噴射装置』 開発物語



種いもの植え付け手順には
厳しい基準が設けられている

植え付け前のカットでは
一回一回カットするたびに
刃物を消毒液に浸すことが
推奨されている

もしも病気の種いものを
植え付けてしまったら
その土地は病気に汚染され
何年にもわたって
使えなくなってしまうからだ



その作業はいまだ
手作業に頼っている

食用じゃがいもを
カットする
ポテトカッティング
プラントはすでに
開発され稼働していたが

刃をその都度消毒しながら
種いもをカットする
機能を備えたポテト
カッティングプラントは
まだ無かった



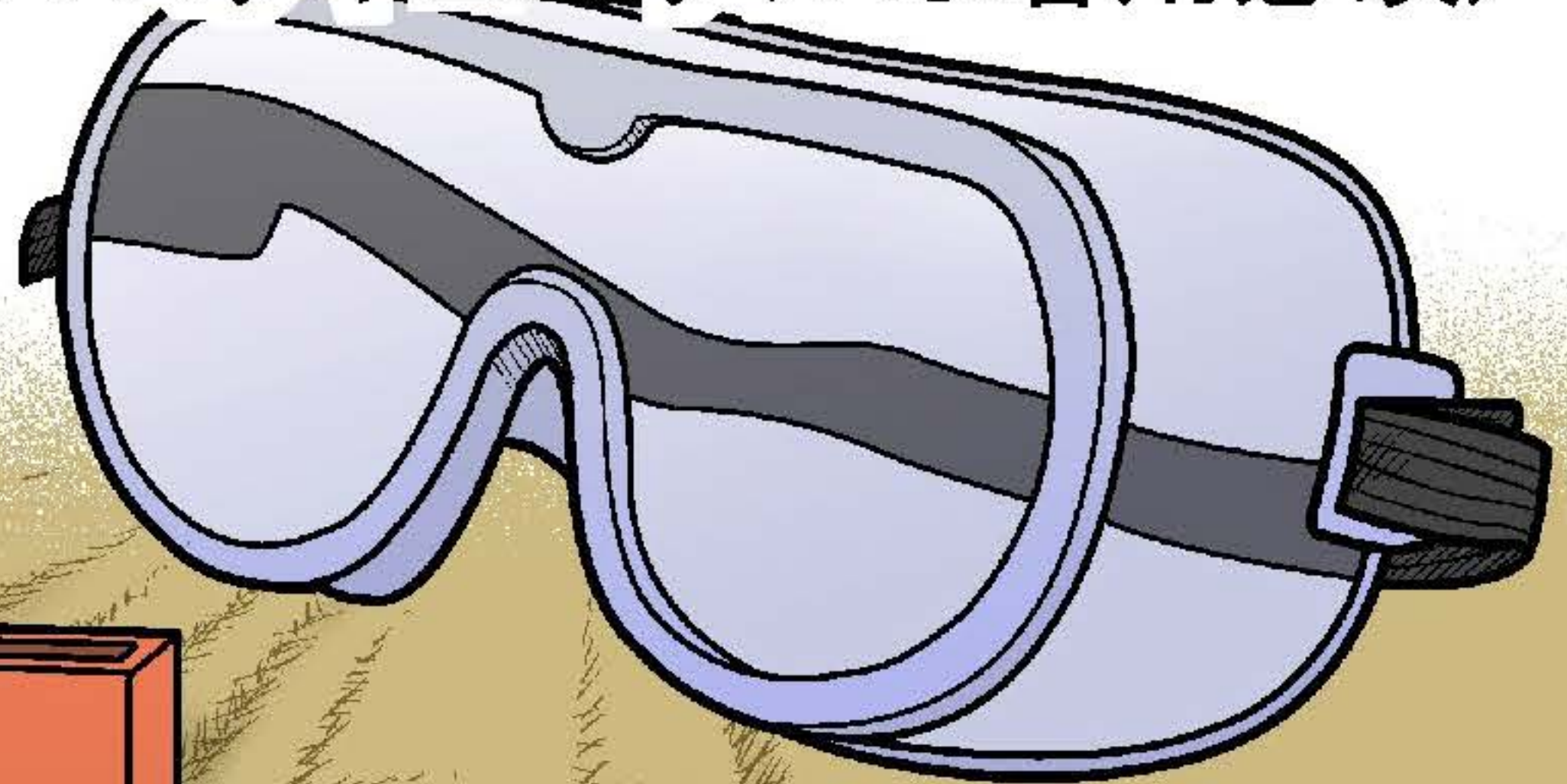
人の手による作業のため
多くの問題を抱えていた

消毒液から発生する
塩素による健康被害
(マスクやゴーグルは着用必須)

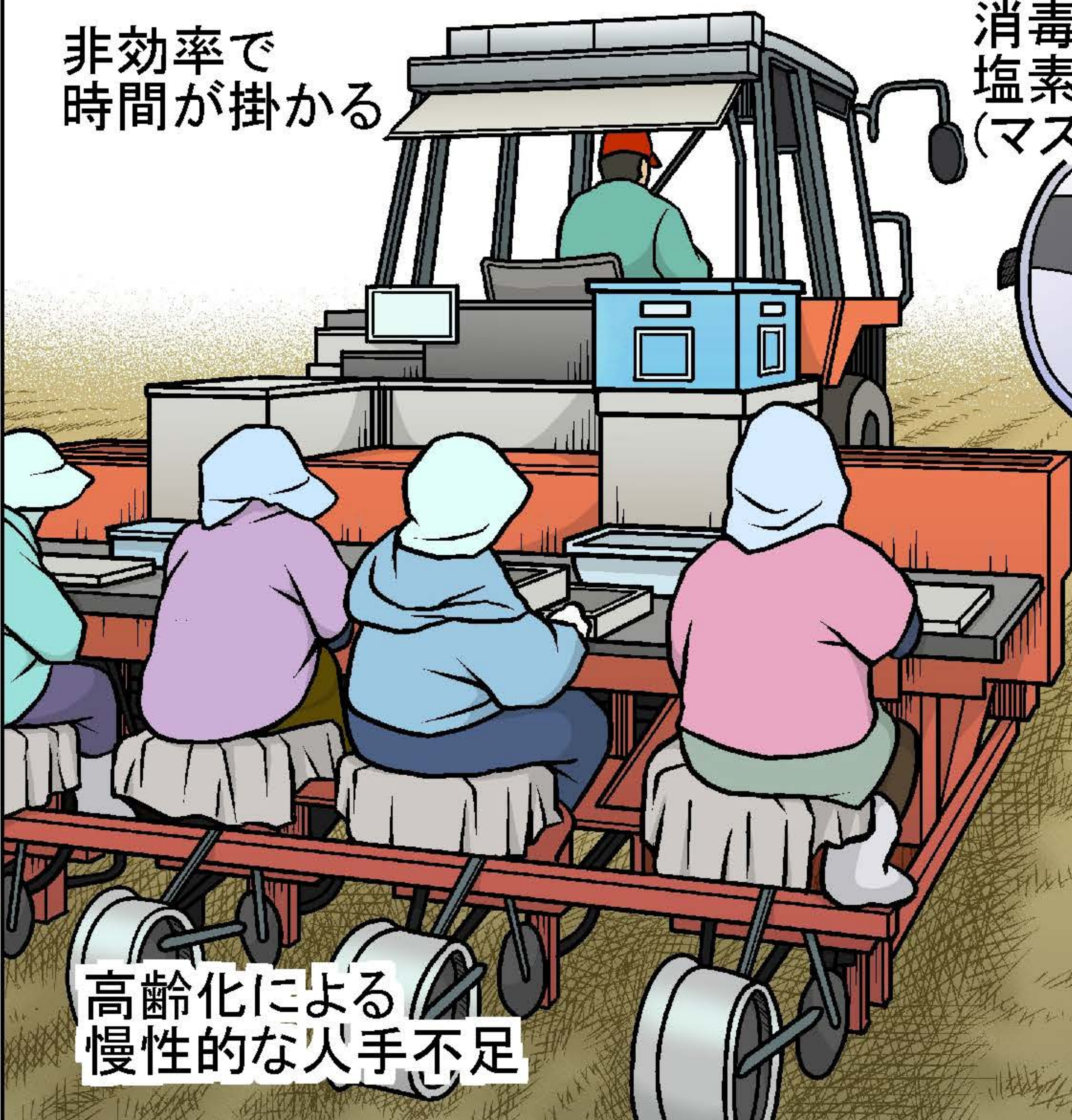
非効率で
時間が掛かる

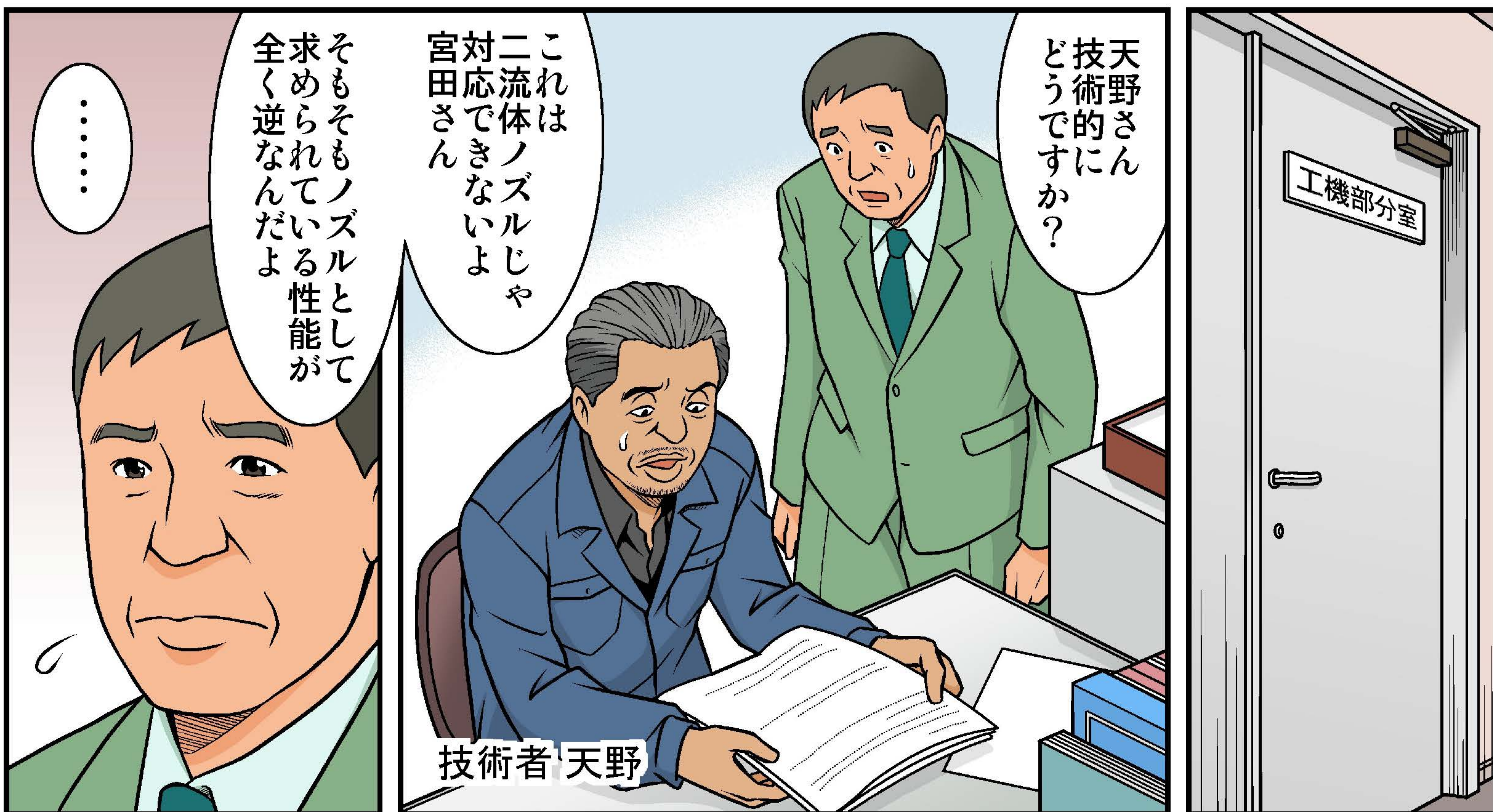
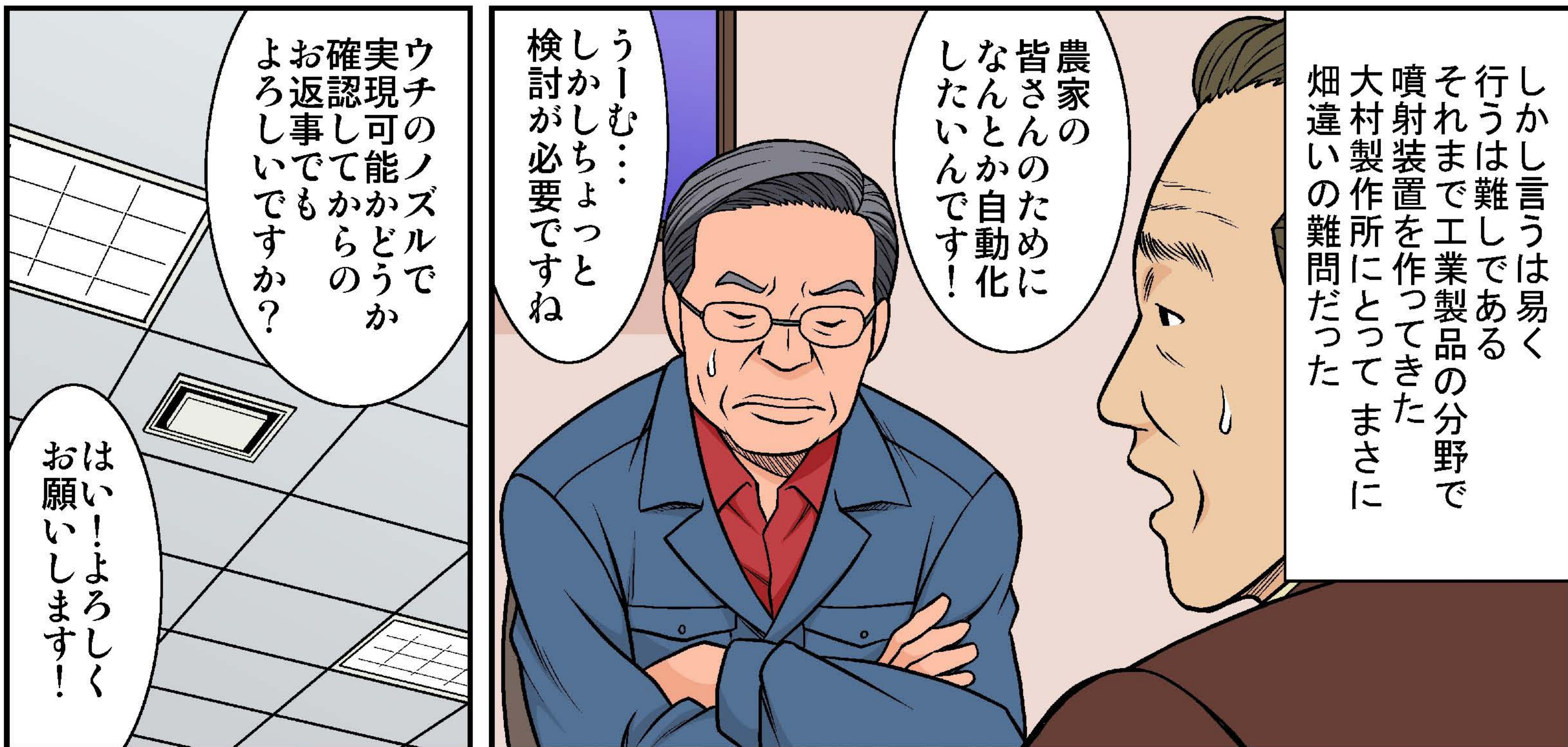
じゃがいもをカットする刃を
その都度消毒できるような機能が
既存のポテトカッティングプラントに
後付けできればこれらの問題が解決する

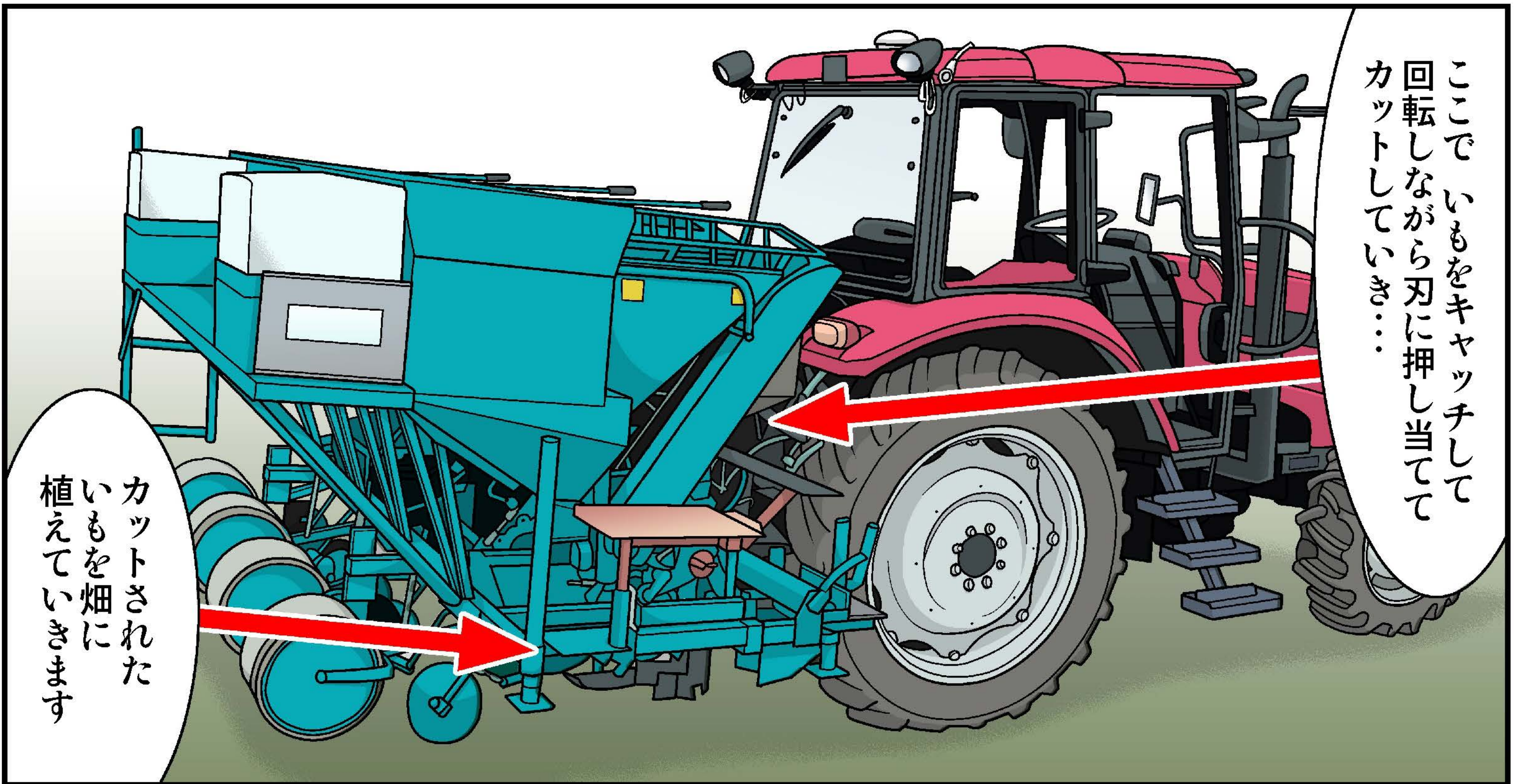
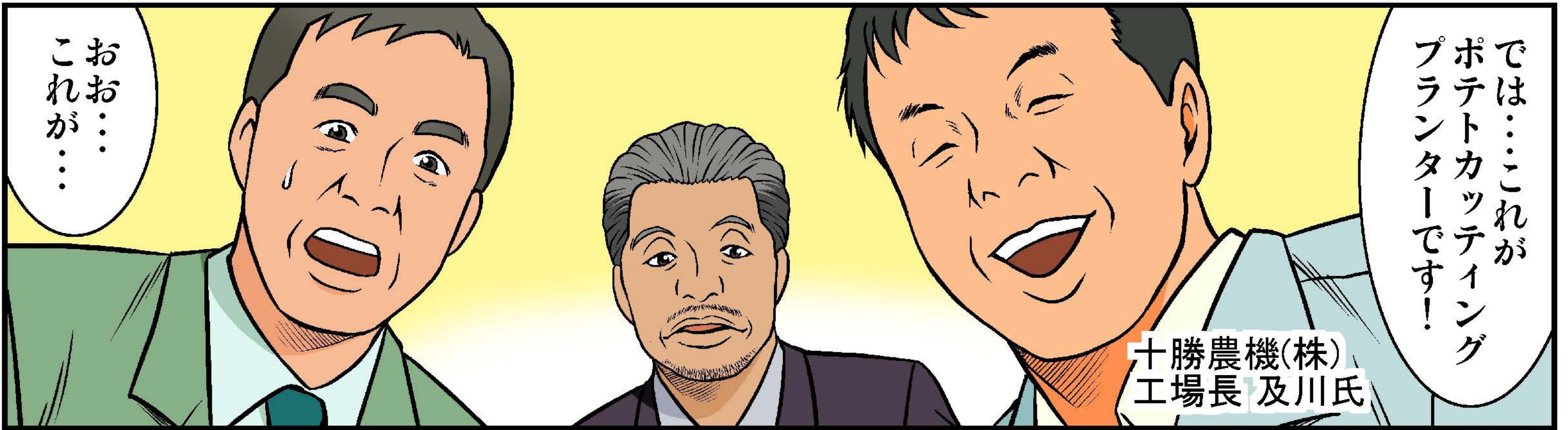
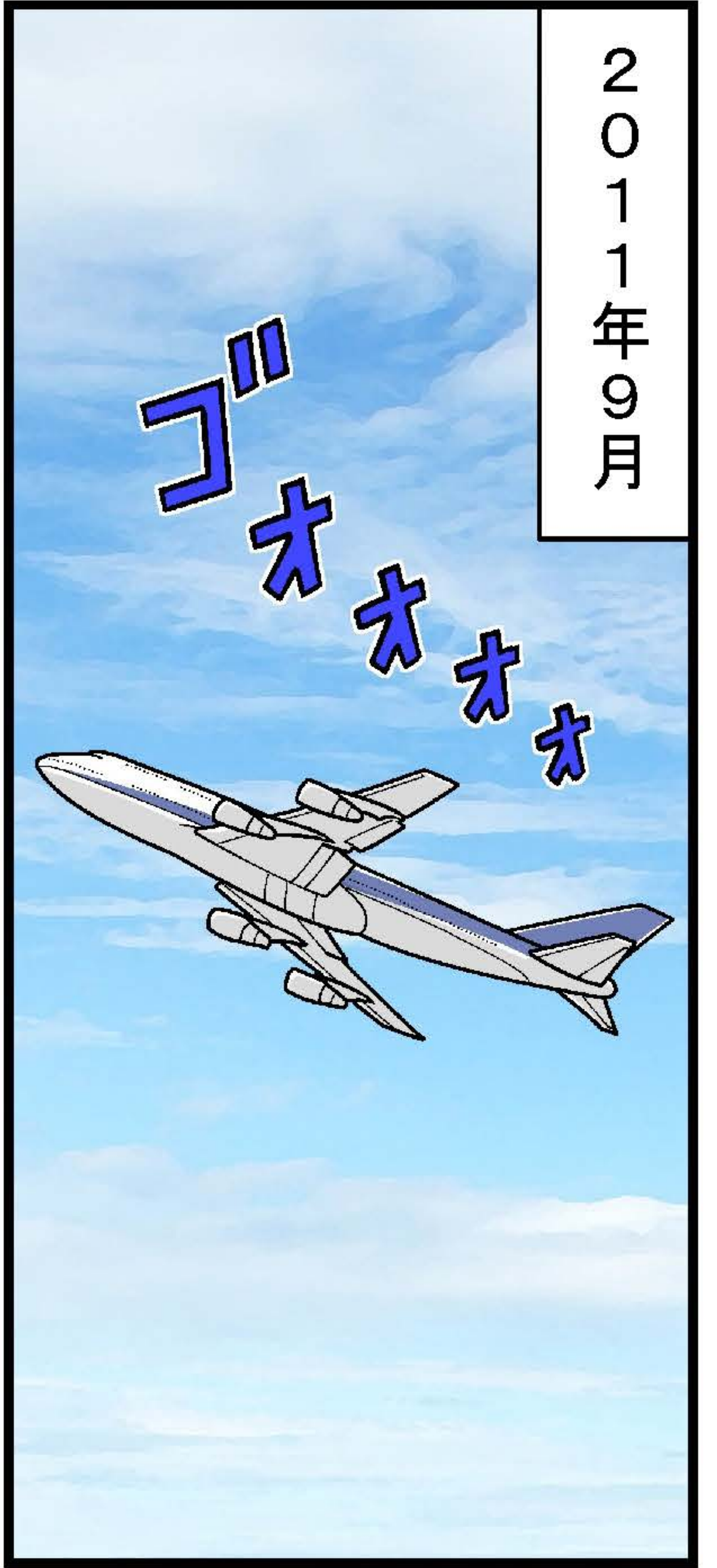
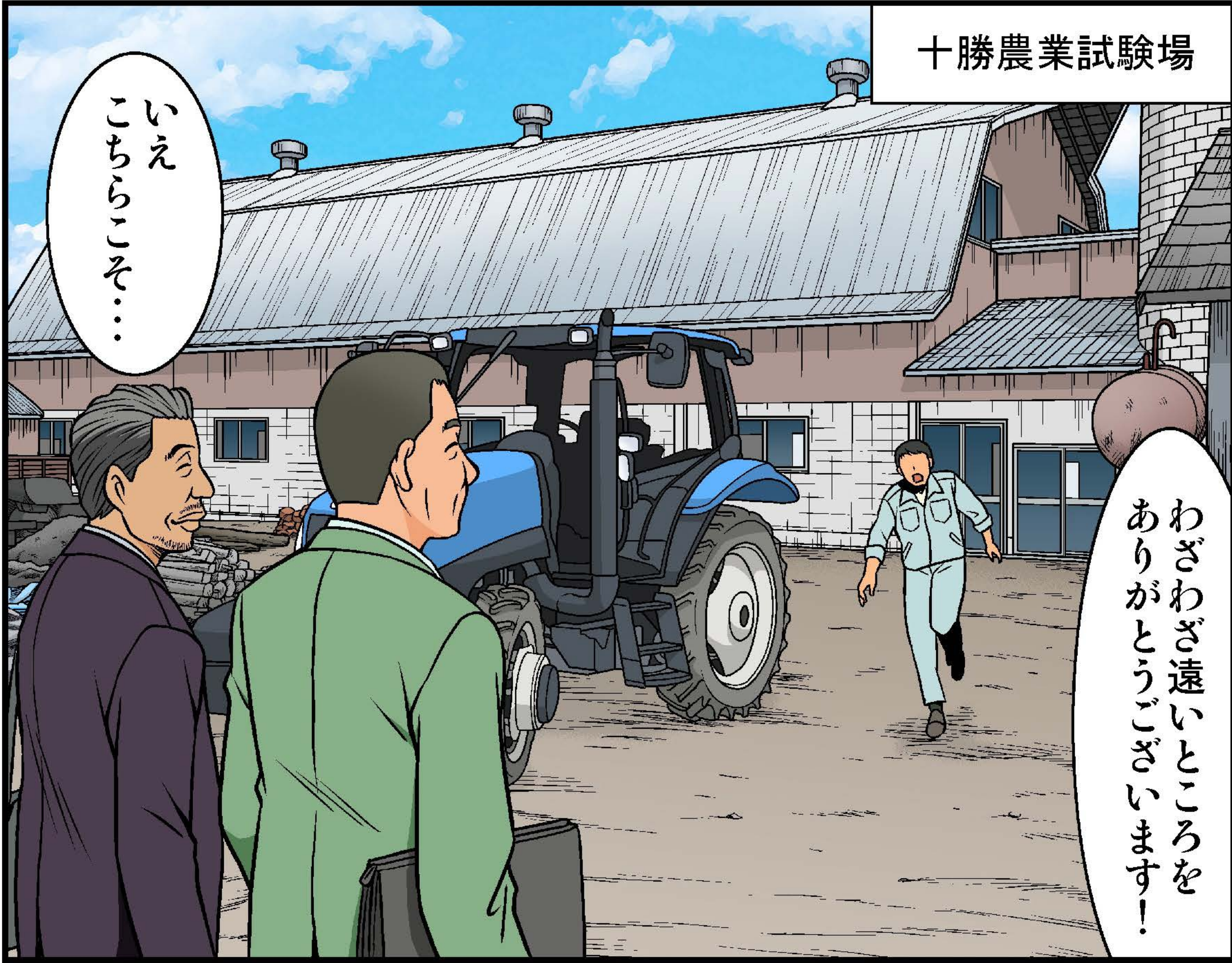
高齢化による
慢性的な人手不足

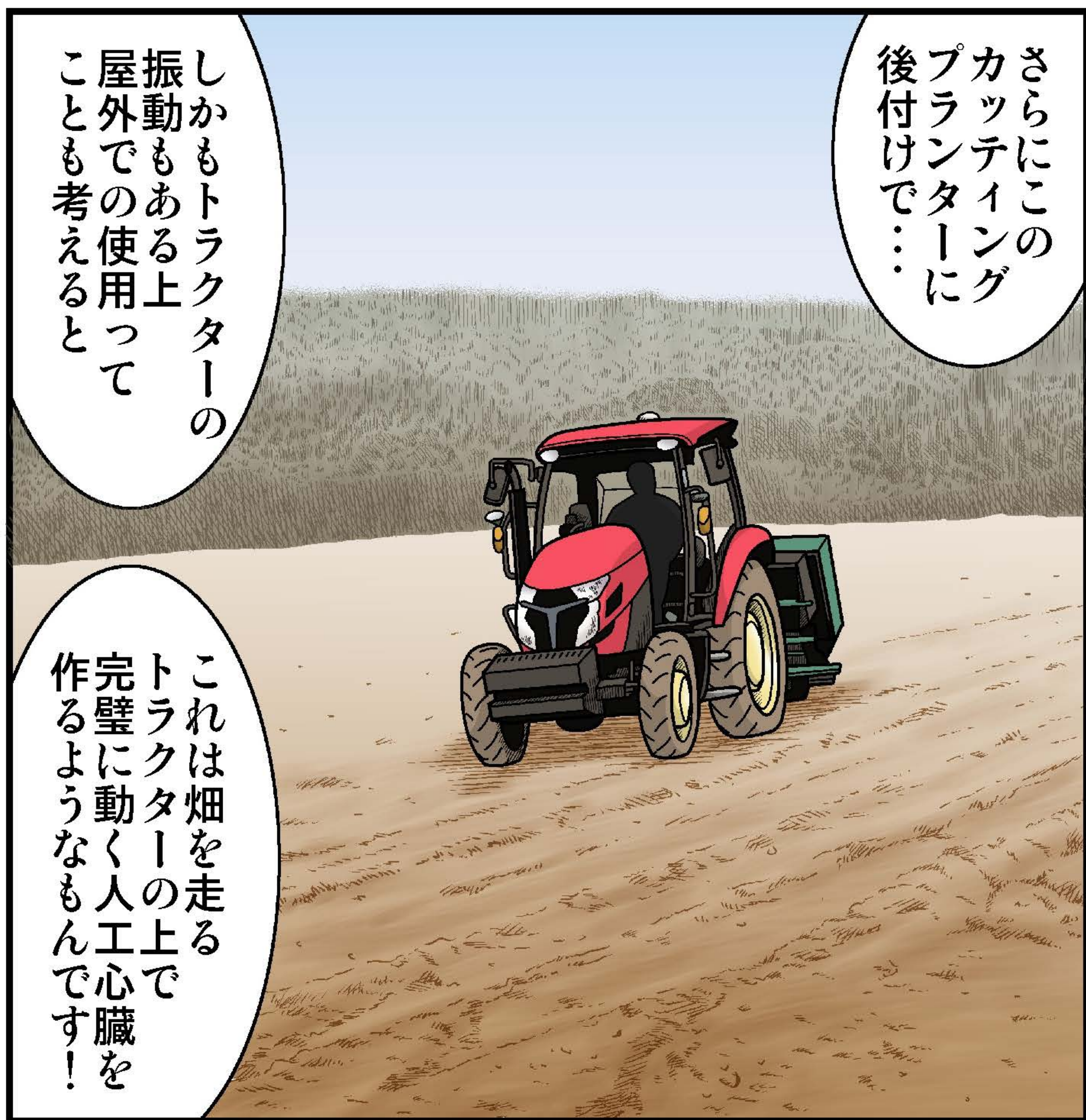
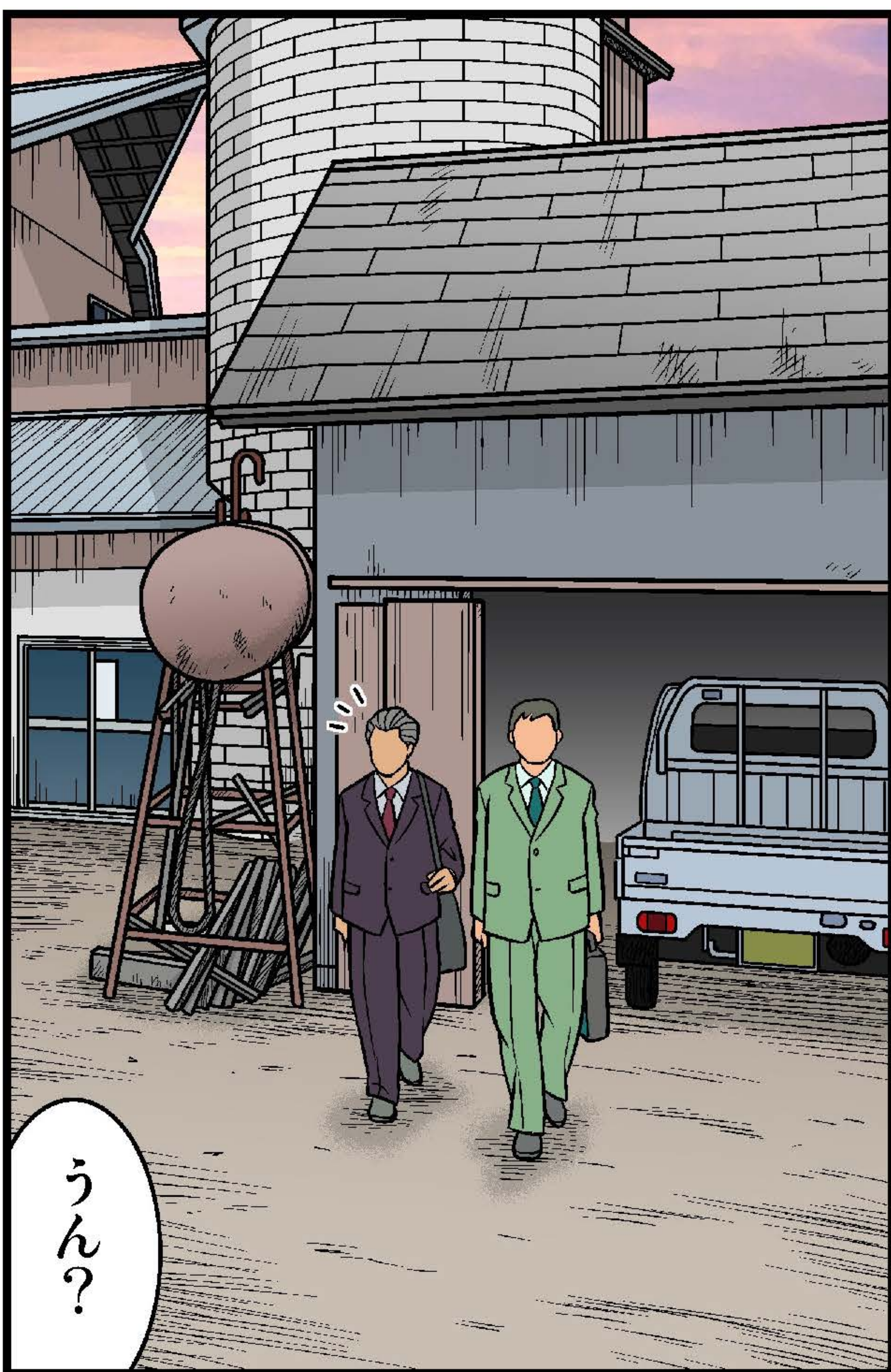
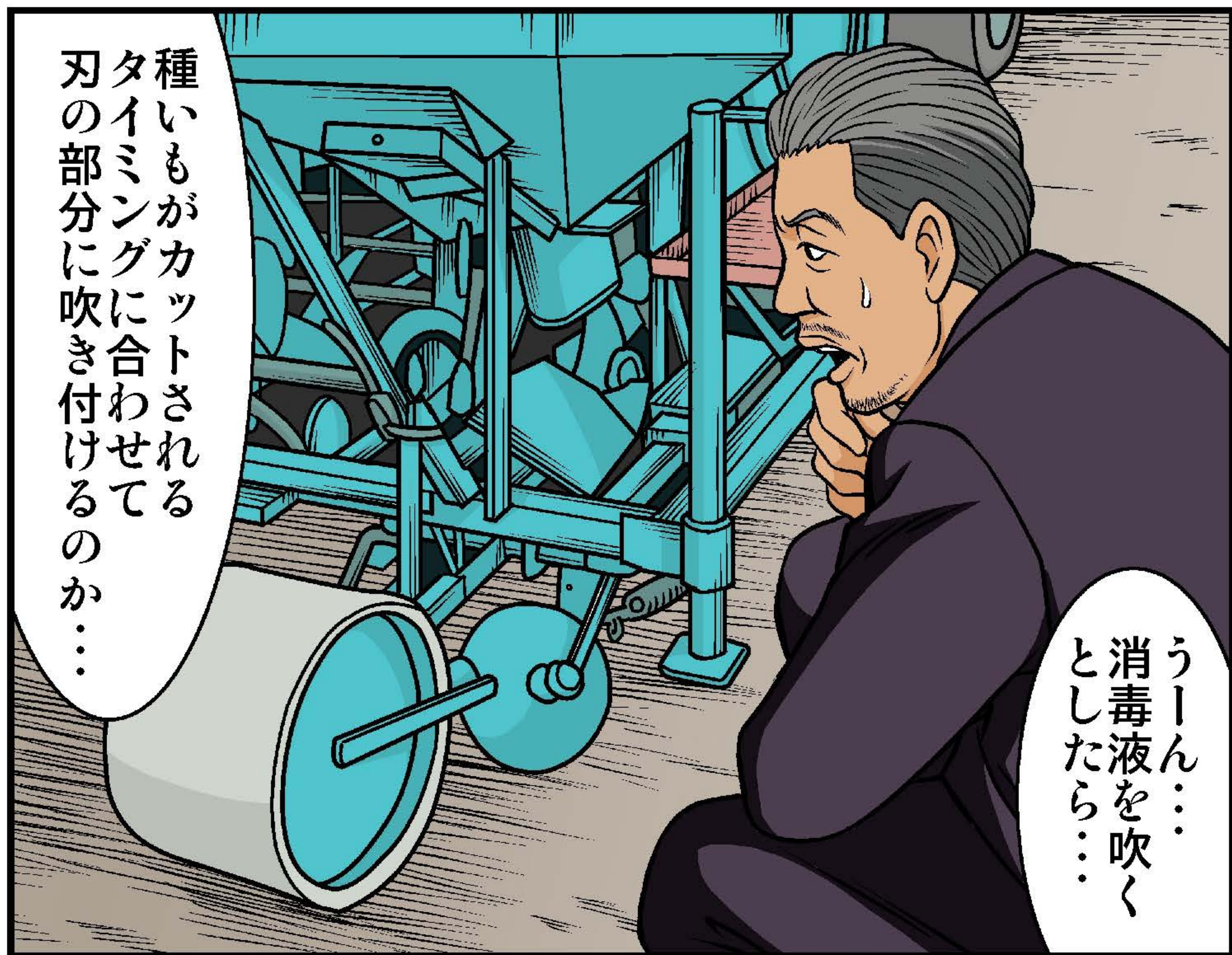


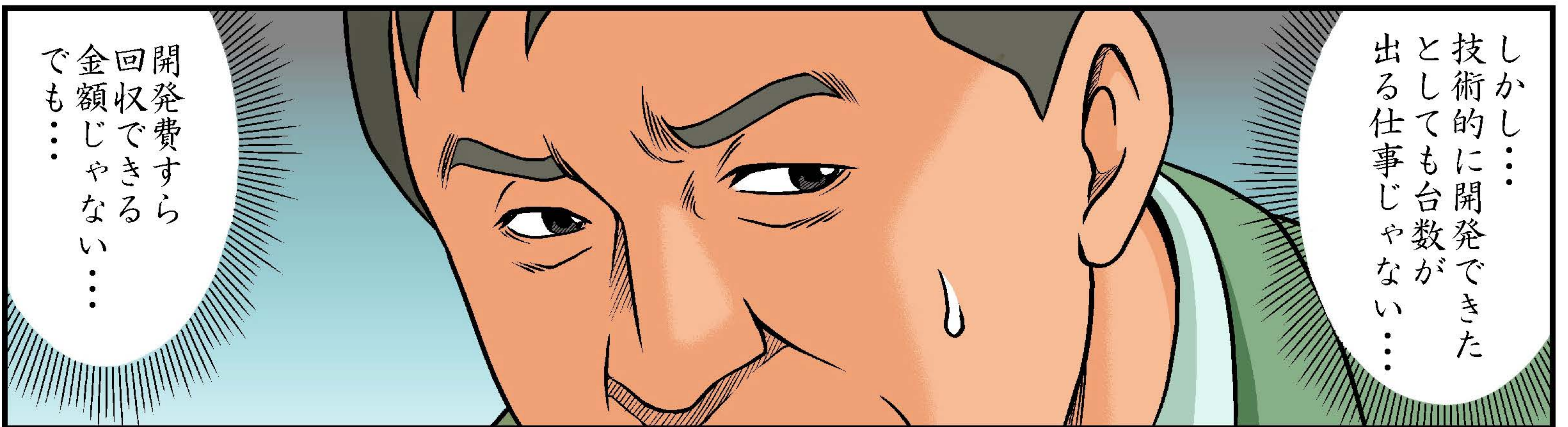
消毒液で手が荒れて
指紋が消える

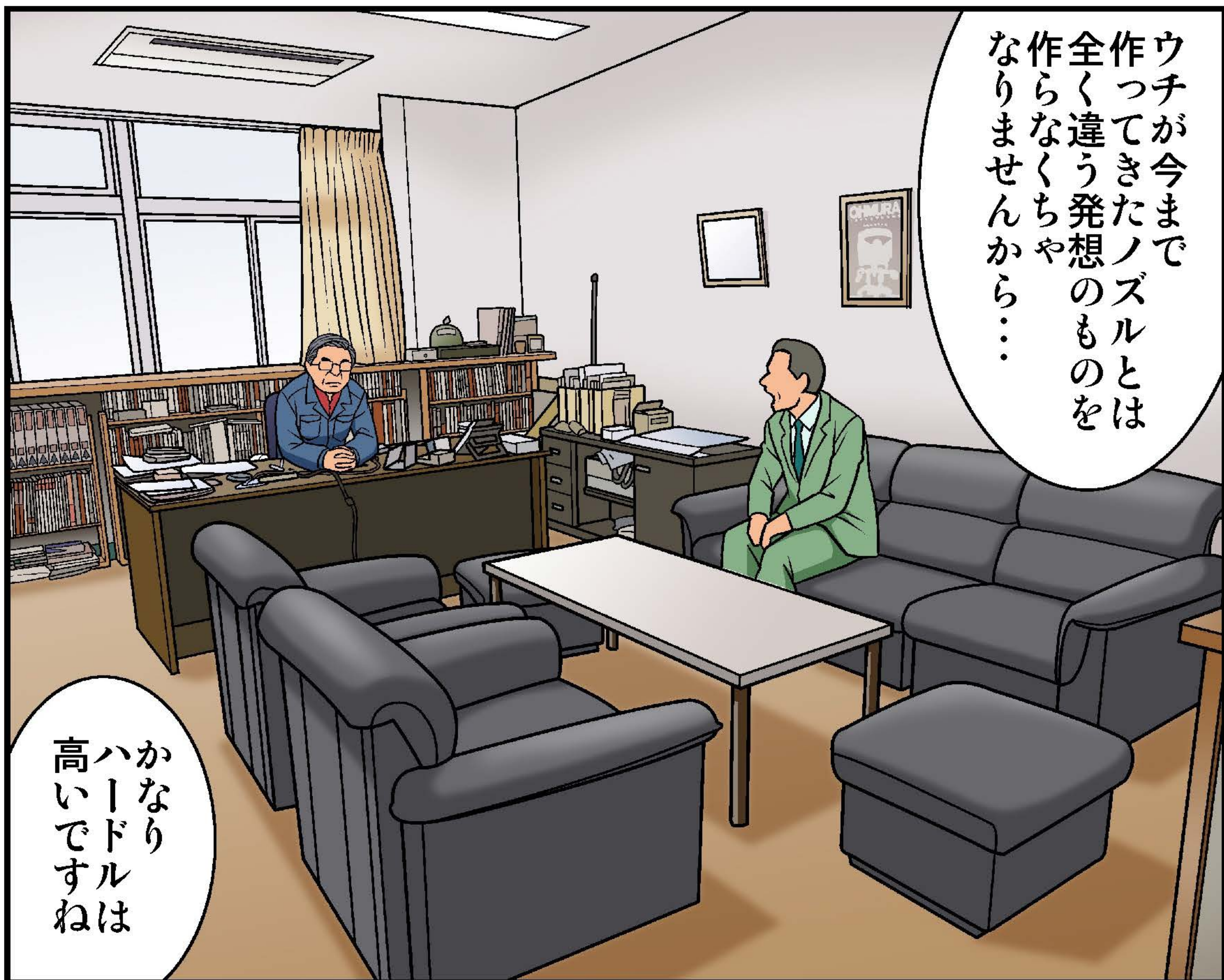


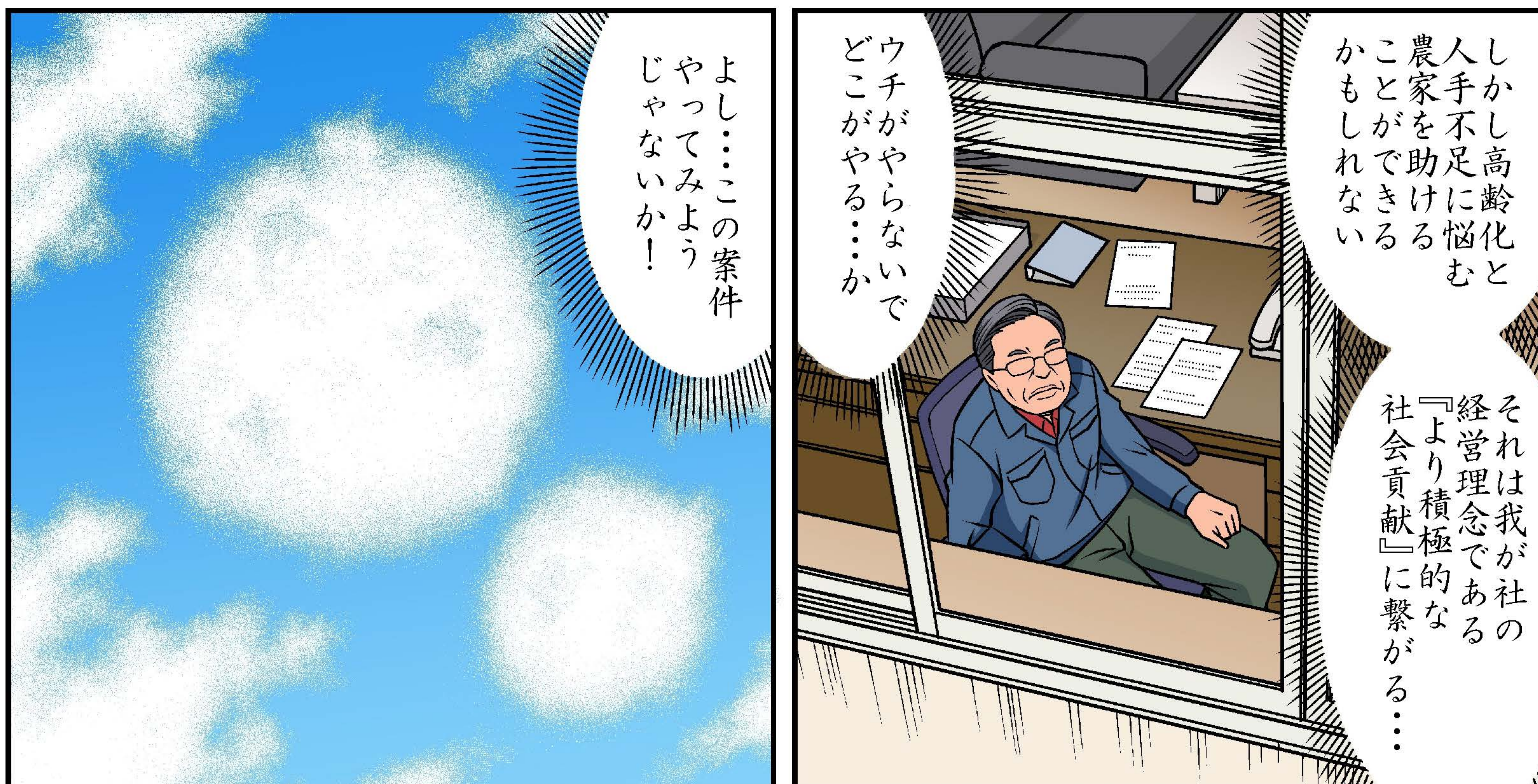




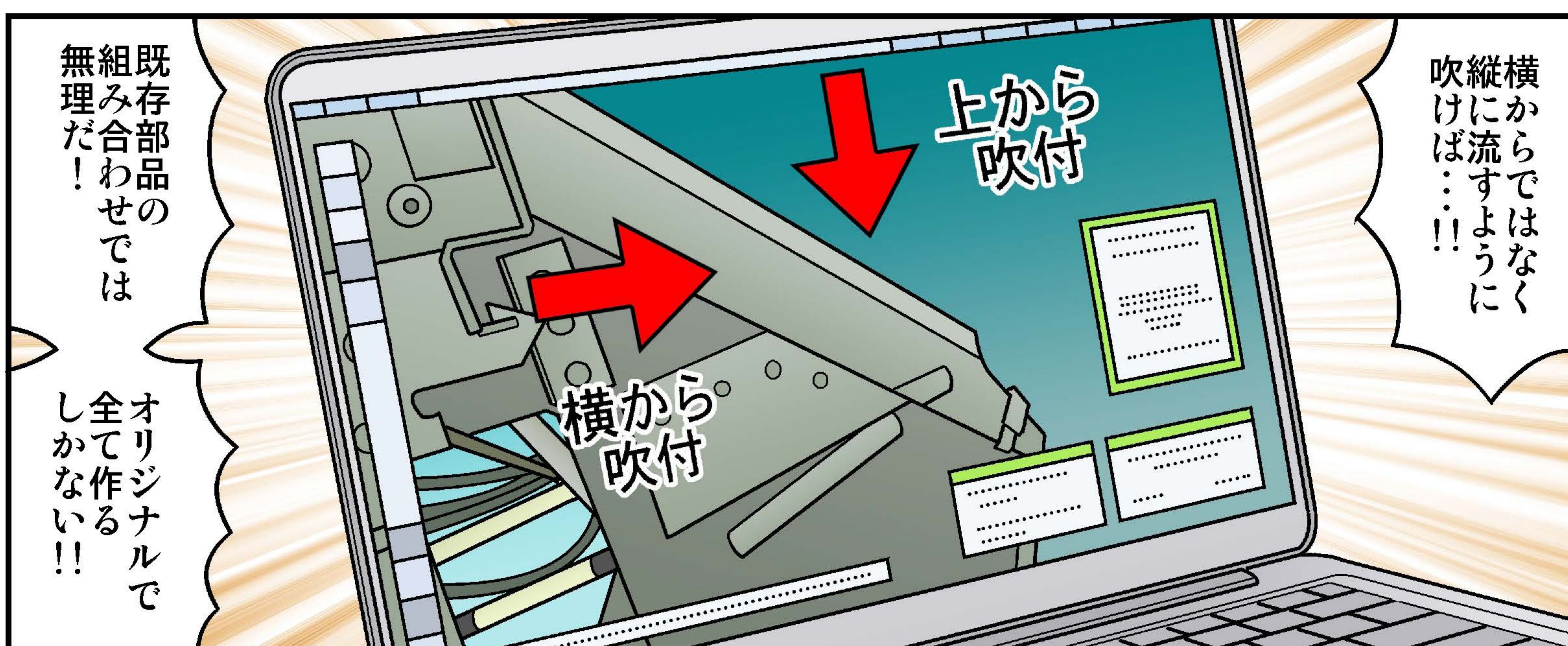
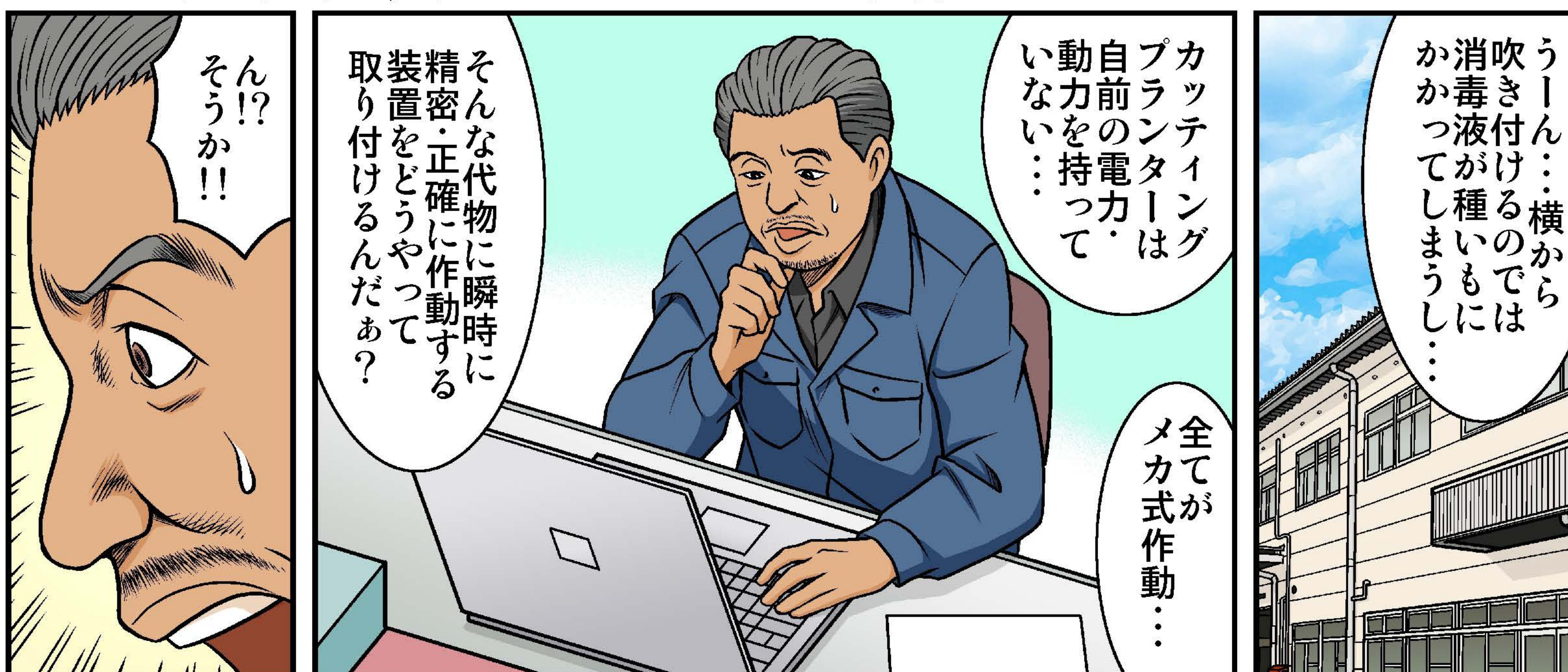


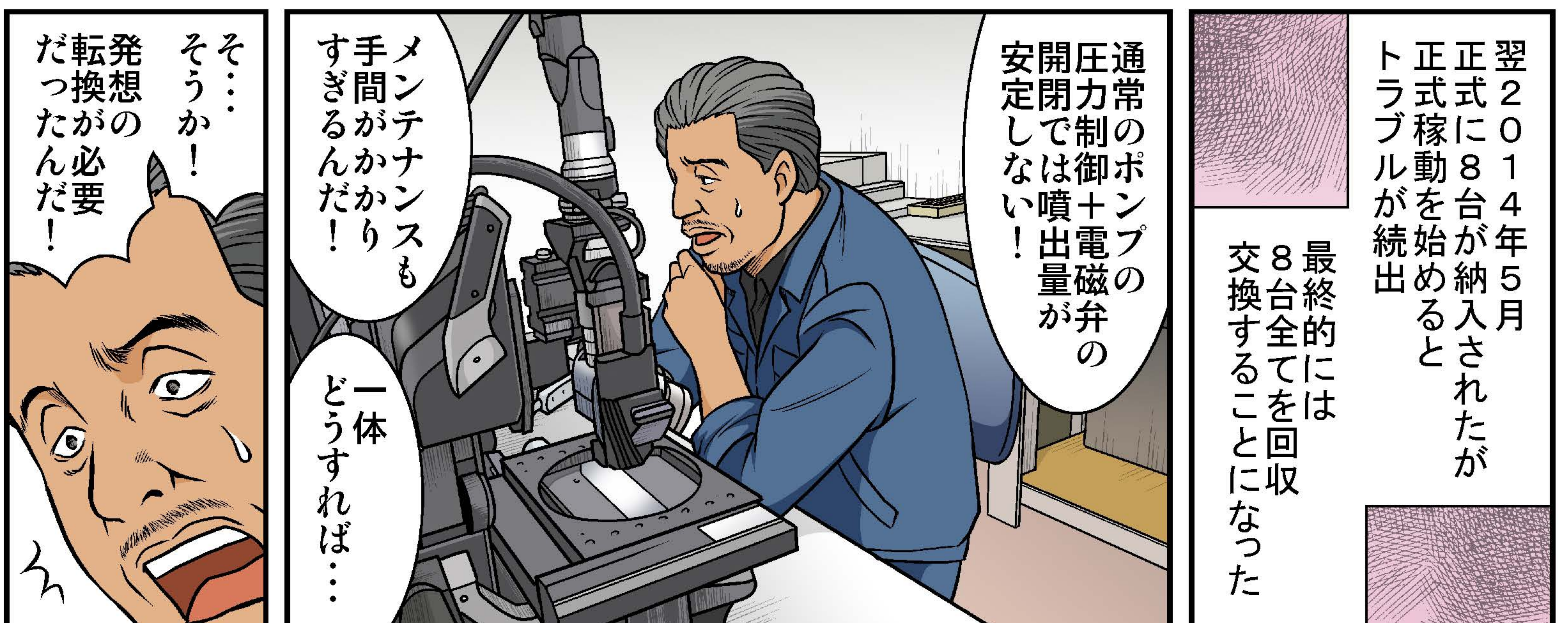
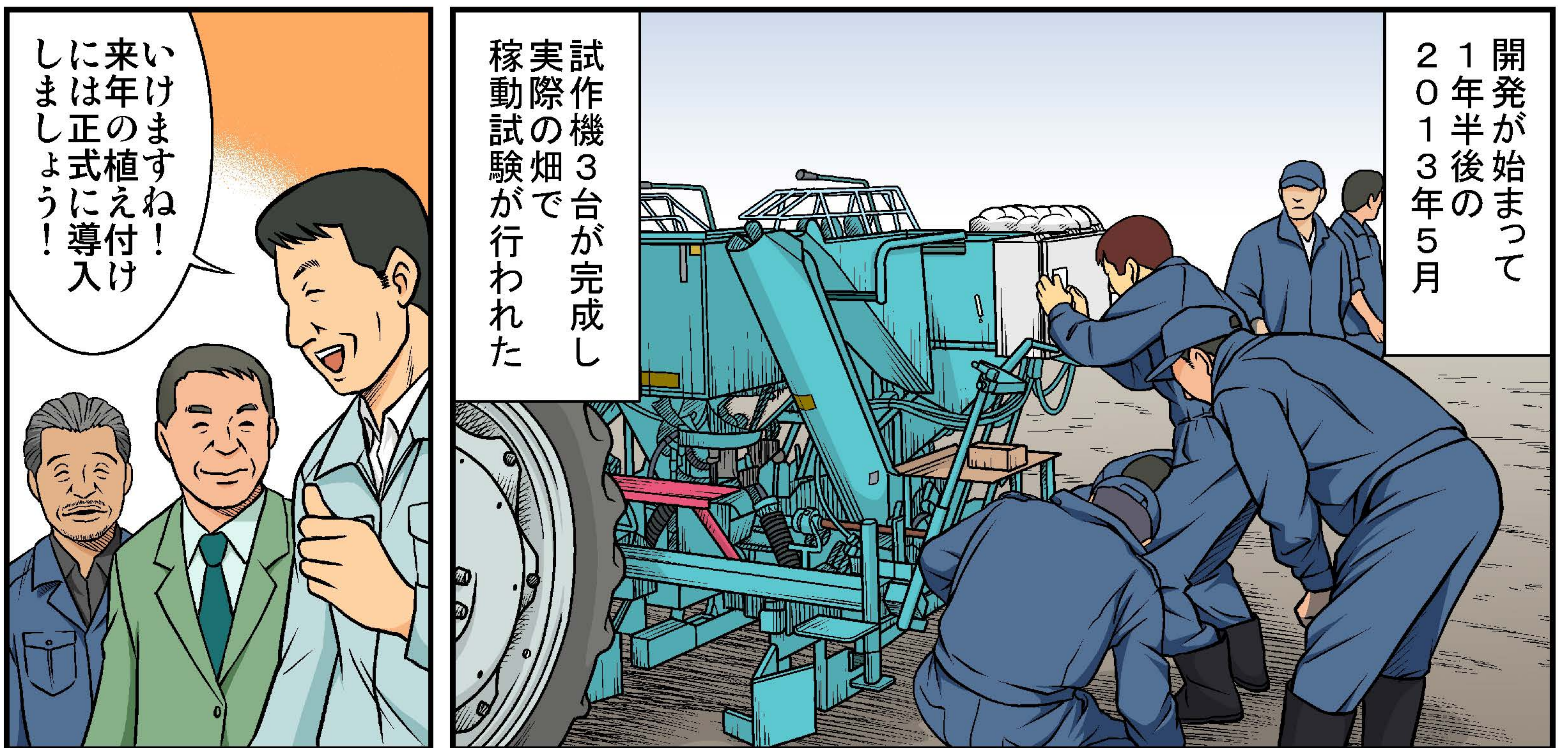
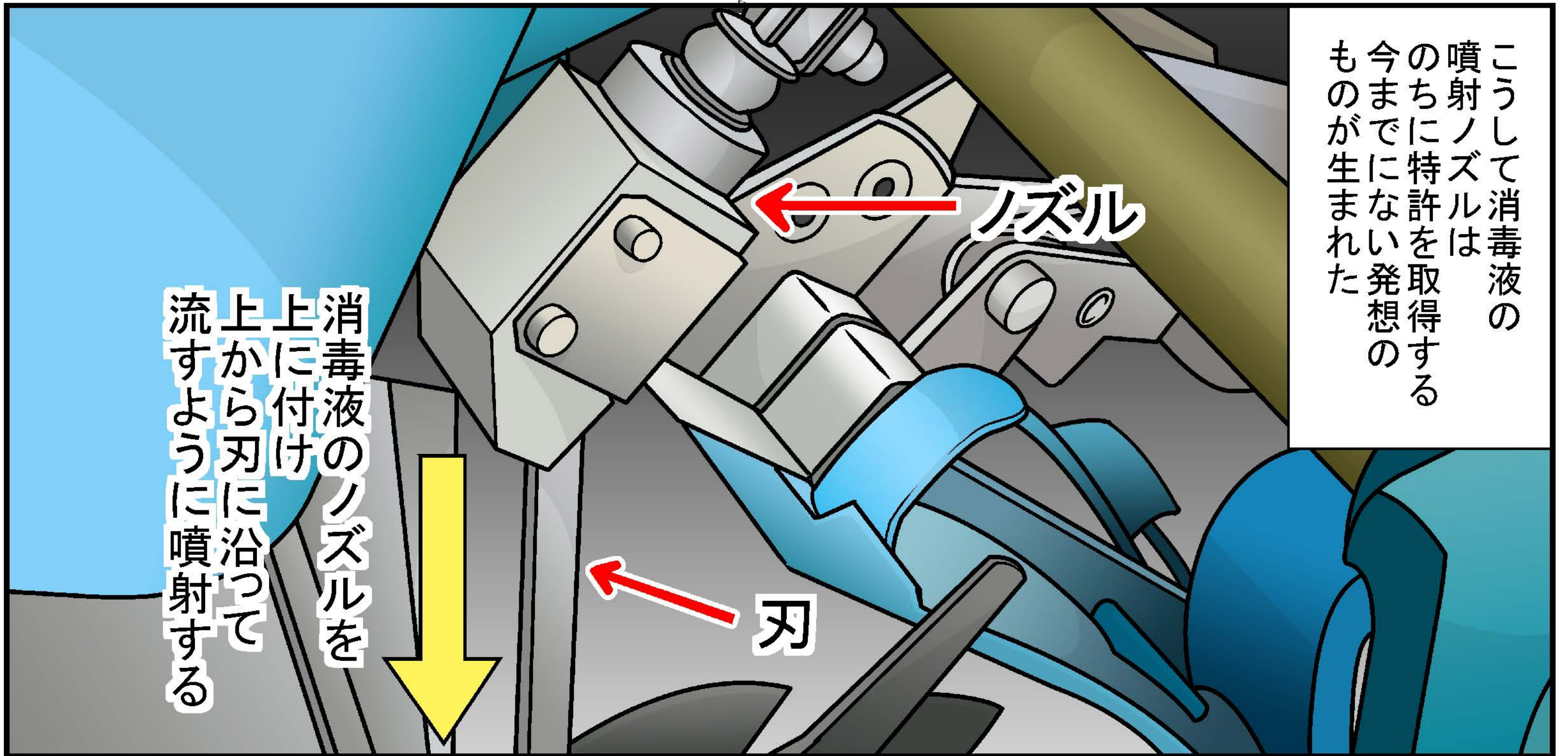


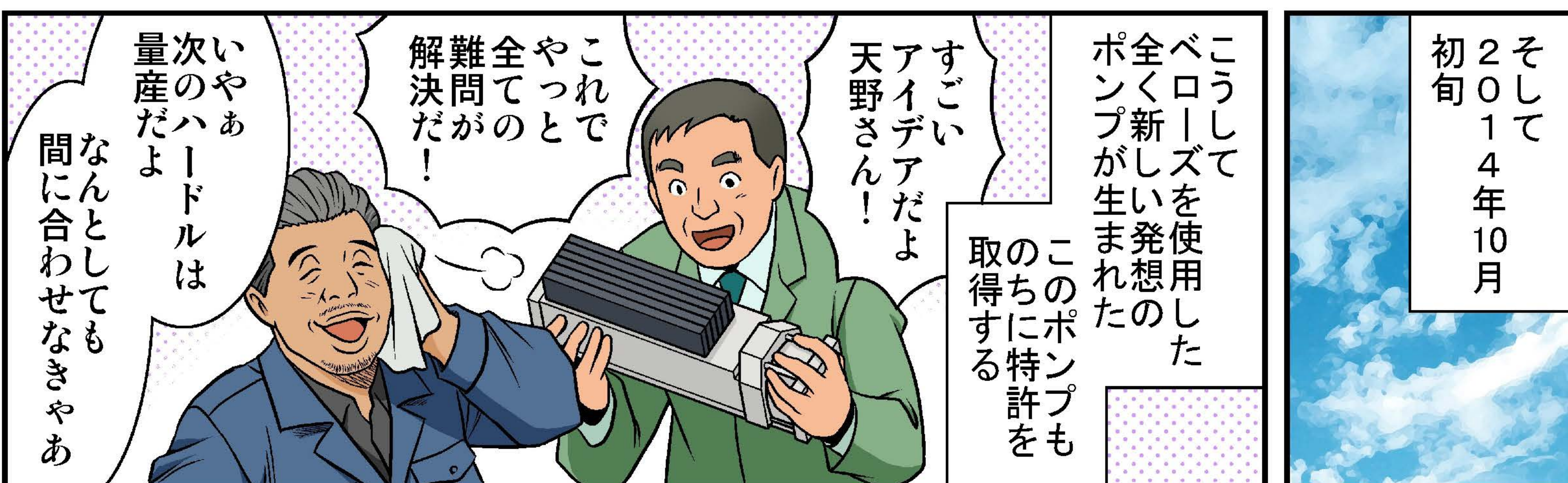
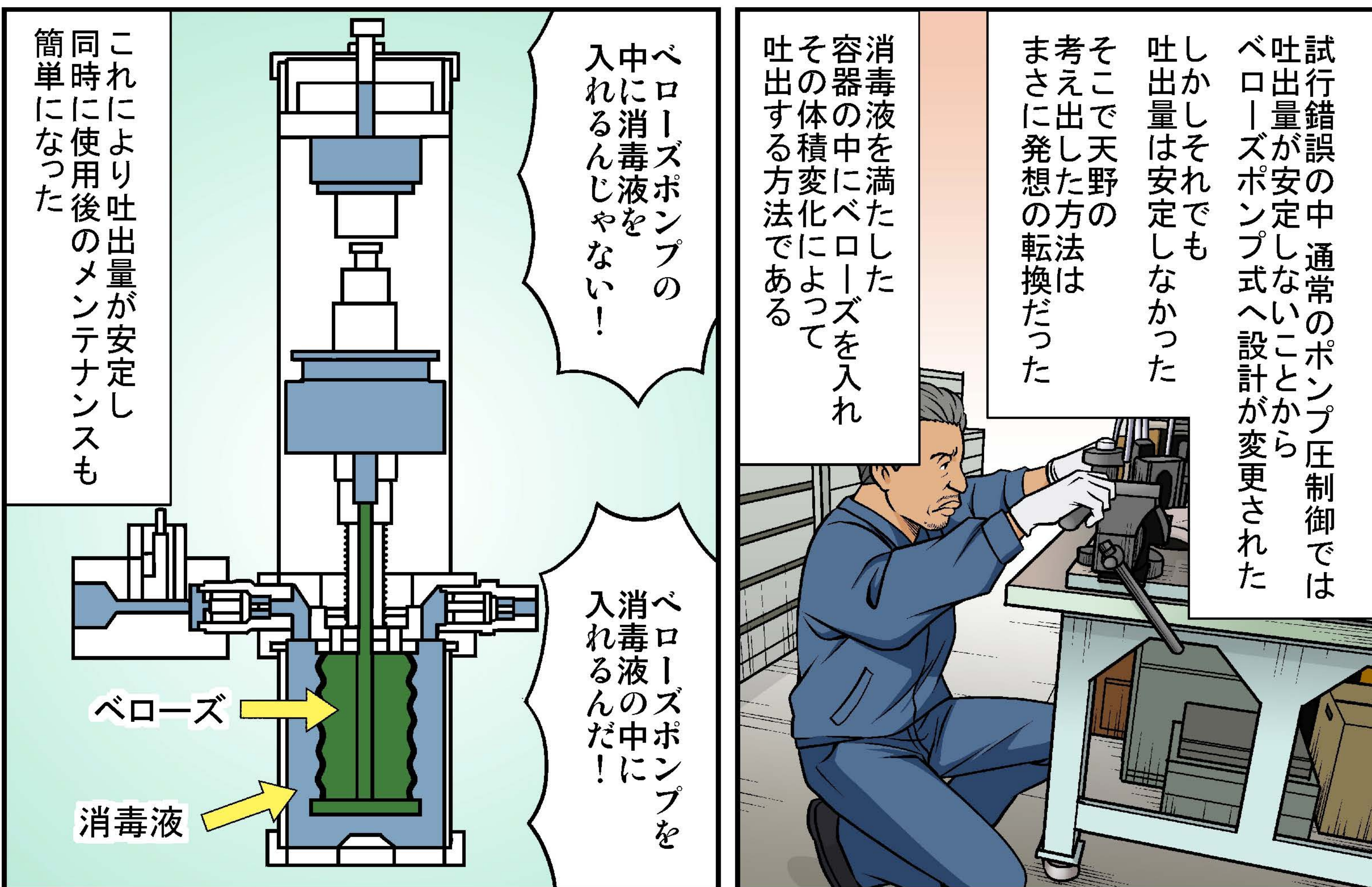


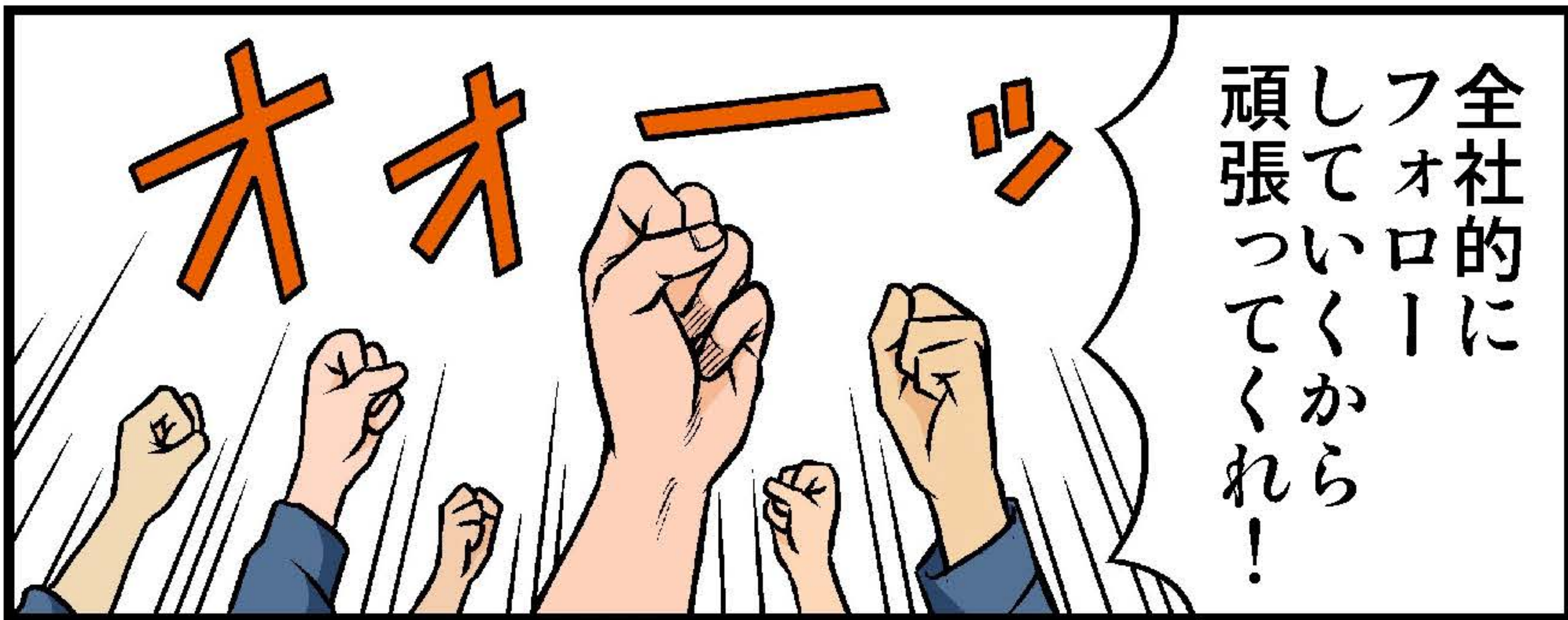


大村社長のGOサインで開発がスタートした

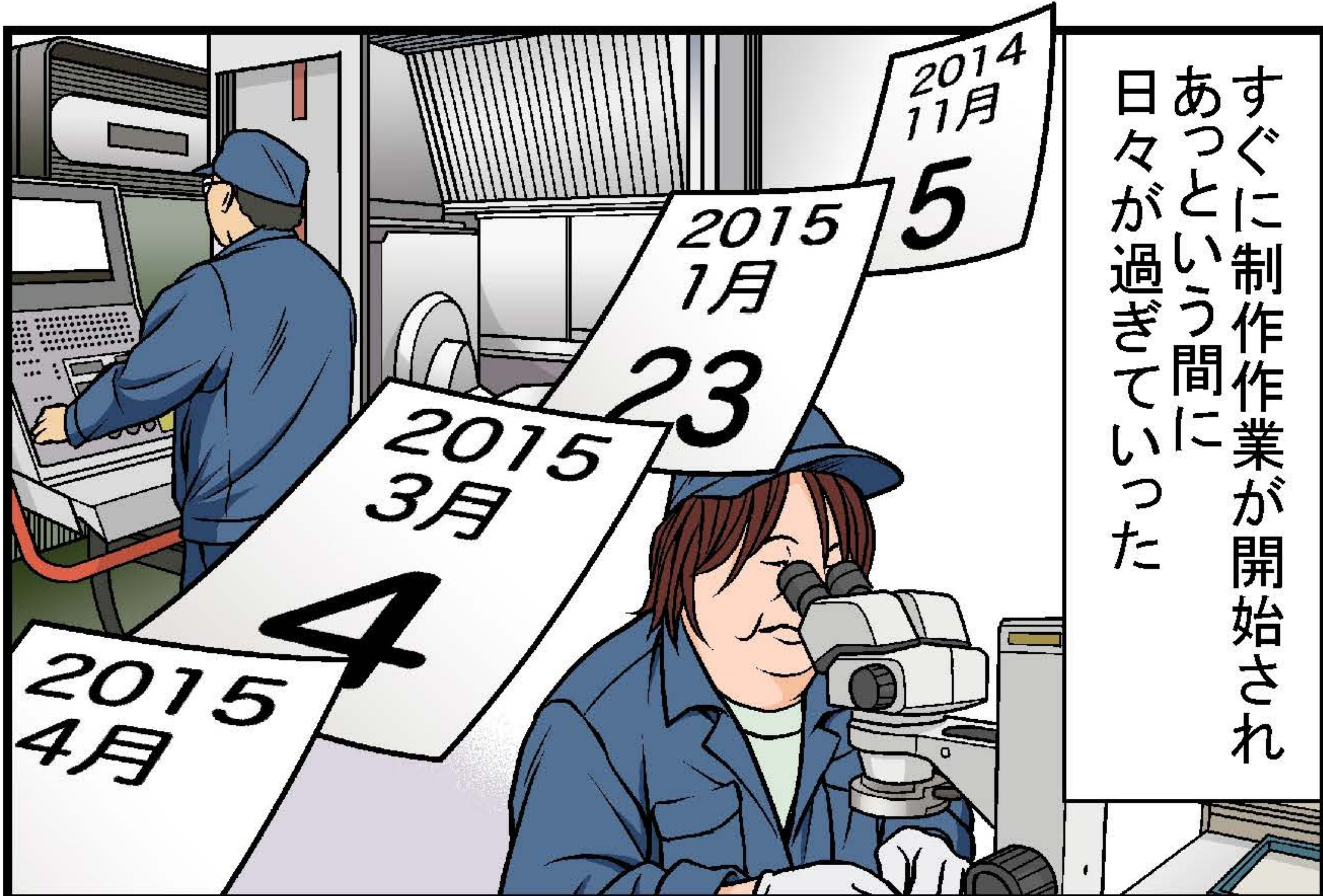








全社的に
フォロー
していくから
頑張ってくれ！



すぐに制作作業が開始され
あつという間に
日々が過ぎていった



作る台数は
10台！

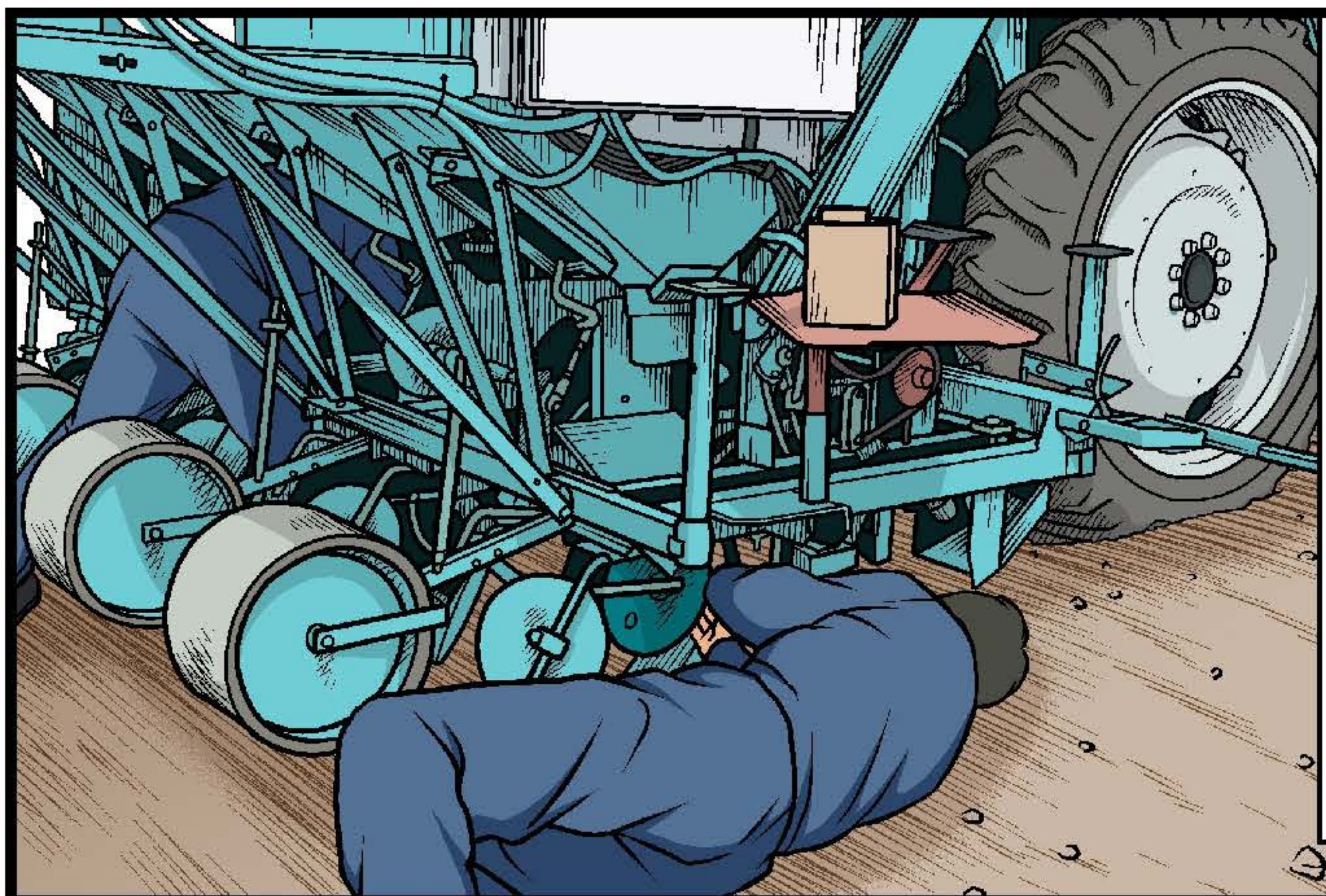
来春の種いもの
植え付けは
遅らせることは
できない！

最終納期は
絶対厳守だ！

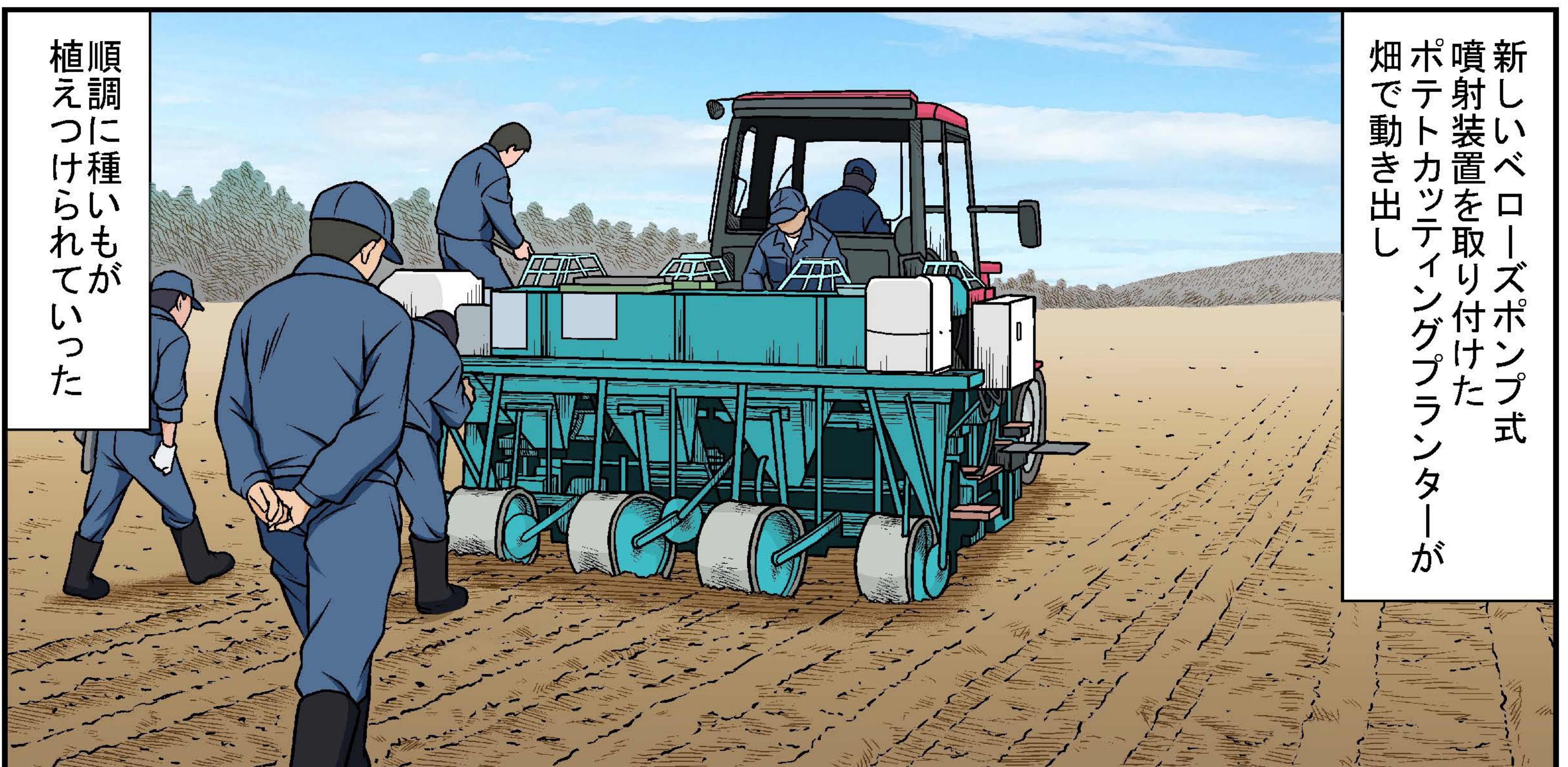
技術部統括部長
石井



そして
植え付け作業
当日

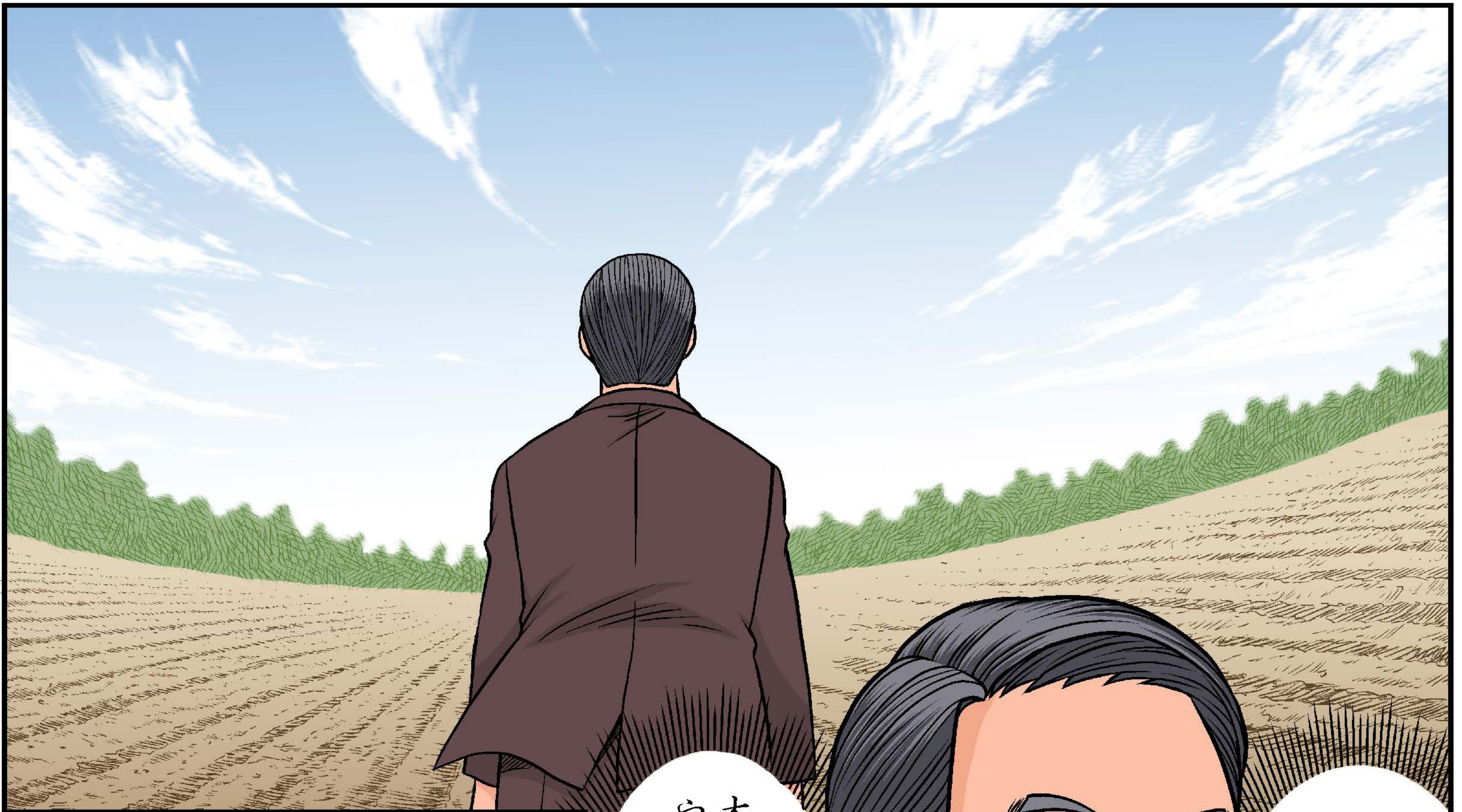
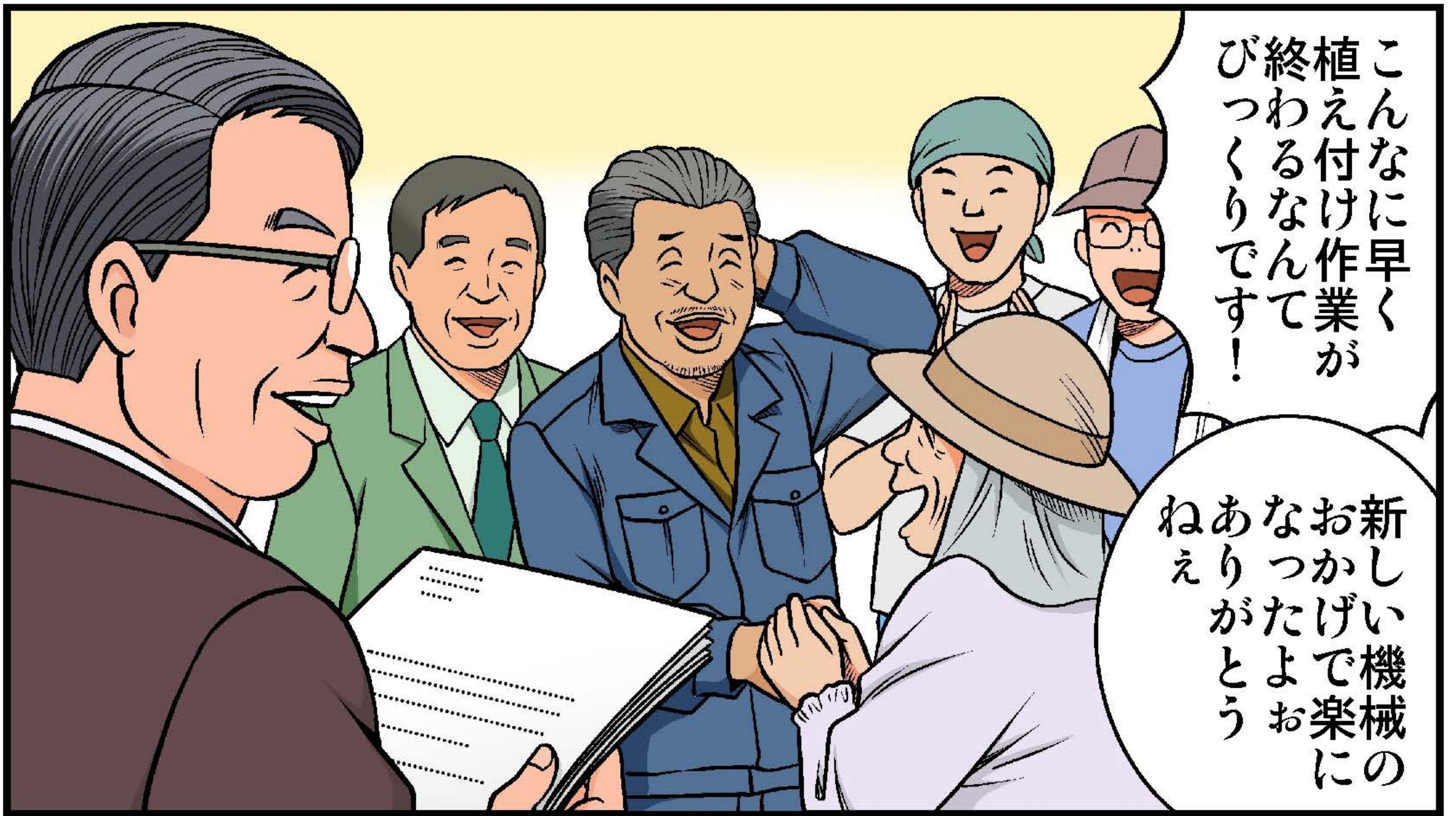
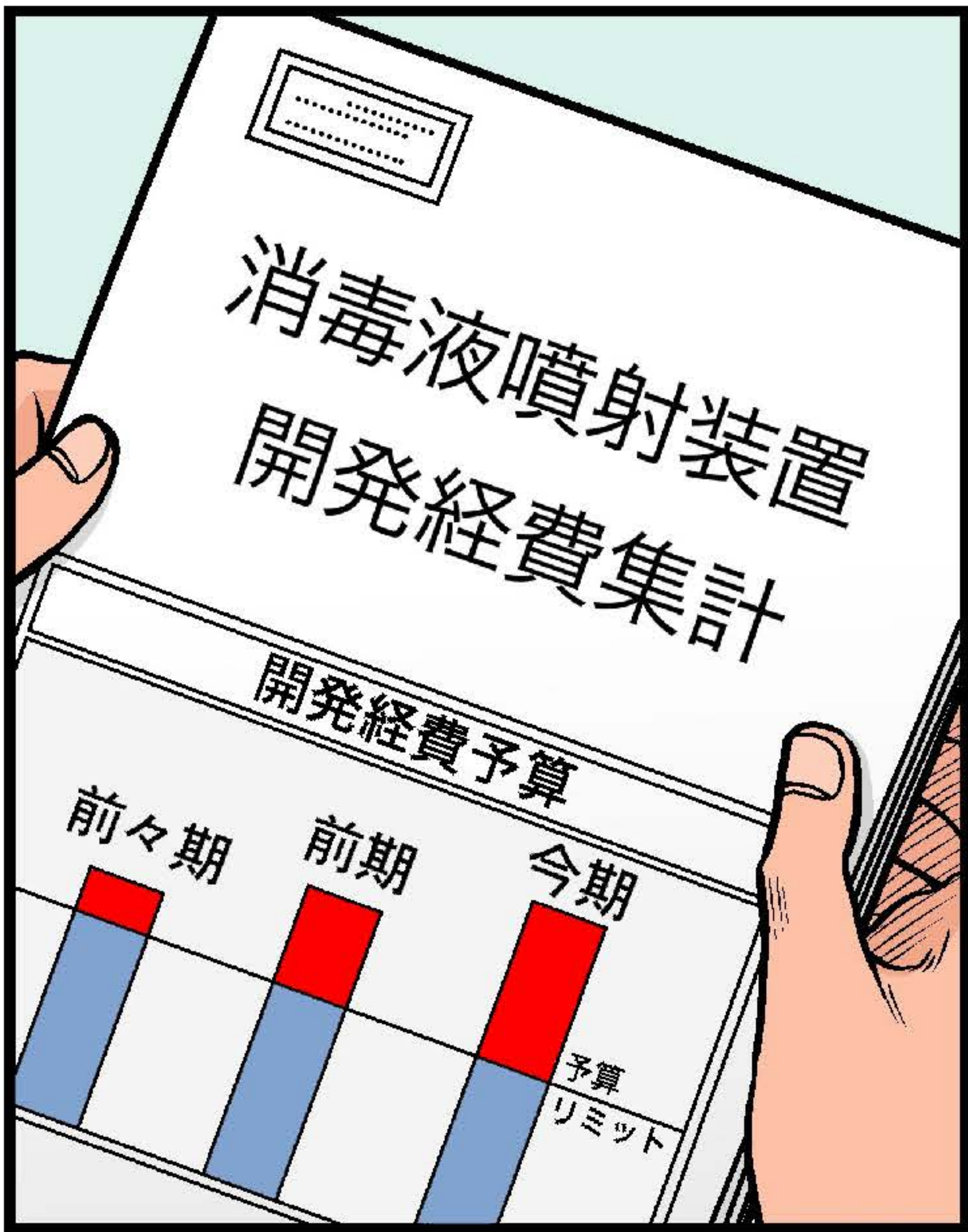


植え付け作業直前には
社員が現地に乗り込み
夜通し最後の
調整作業を行なった



新しいベローズポンプ式
噴射装置を取り付けた
ポテトカツティングプランターが
畑で動き出し

順調に種いものが
植えつけられていった



後日—

本当に
やってよかった！

数字はともかく
こうやって
感謝される仕事は
大村製作所の本懐だ